

事務事業評価シート

(H.30)No.	7010	(H.29)No.	7010
-----------	------	-----------	------

事務事業名	後期高齢者医療特別会計		
担当部局名	担当室名	室長名	
市民部	保険年金室	中山 正己	

会計区分	事業コード	007010
後期高齢者医療特別会計	(中事業名)※予算書事業名	
款		
項	(小事業名)	
目		

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施策	4	社会保障
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
後期高齢者の方が安心して医療を受けていただける体制づくりをはじめ、被保険者間の負担の公平性の確保を図るため、保険料収納率の向上等に努めます。
事業内容
三重県後期高齢者医療広域連合が保険者となり、後期高齢者医療制度(75歳以上の方(一定の障害があり認定を受けた方は65歳以上)が加入。)に係る申請及び届出の受付、保険証の引渡しや保険料の徴収等を行います

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者数 10,795人 保険料現年度収納率 99.55% 医療費給付 7,451,589千円 	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者数 11,150人 保険料現年度収納率 99.60% 医療費給付 7,570,814千円 	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者数 11,500人 現年度収納率 99.60% 医療費給付 7,722,230千円 	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者数 11,850人 現年度収納率 99.60% 医療費給付 7,876,674千円

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		1,575,791千円		1,570,399千円	1,643,010千円	1,720,250千円	1,799,855千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()		714,475		706,397	750,983	798,767
一般財源	0	861,316	0	864,002	892,027	921,483	952,469
人工数		3.00人		3.00人	3.00人	3.00人	3.00人
職員							
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	19,347千円	0千円	19,101千円	19,101千円	19,101千円	19,101千円
①+②総事業費	0千円	1,595,138千円	0千円	1,589,500千円	1,662,111千円	1,739,351千円	1,818,956千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
保険料の収納率は、収納対策を講じたことから前年度の収納率を上回りました。医療給付費は、近年加入者の増加や医療の高度化により増加しており、医療費抑制のためには加入者の健康保持が必要であることから、頻回受診者の保健指導並びに受診券での健康診査及び歯科健康診査を実施して被保険者の自助努力を支援しました。後期高齢者の健康を保持と福祉の増進は、生涯現役の長寿社会の創造と高齢者の自立や社会参加に貢献しています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
引き続き、保険料の滞納整理を積極的に行い収納率の向上を図り、後期高齢者医療制度の安定した事業の運営に努めます。

6. 事務事業の取組に関する市の計画